



まいばら

まんずりーれぽーと

関ヶ原町と広域連携会議を開催(7月5日)



県境で隣接する米原市・関ヶ原町の官民交流活発化を目的とした会議が開催され、市側は平尾市長、町側は西脇町長を中心に、観光や文化・歴史、地方創生の関係部署の職員が出席しました。

さまざまな取組の紹介と意見交換を行った結果として、今後はお互いの強みを生かしながら、連携して事業を進めていくこととなりました。

また、会議では市民活動団体「はびろネット」から、市町の方言に関するアンケート結果の紹介もありました。

双葉中学校で図書館を大改造(8月3日)

双葉中学校で行われた図書館大改造は、県教育委員会・県立図書館などが進める「学校図書館活用支援事業」の一環で学校図書館を読書面・学習面で利用しやすくすることを目的としています。

この日は双葉中学校の生徒や職員、地域のボランティアなど203人が参加。参加者らは協力して本を廊下に運び出した後、本棚の配置を変更し、分類番号順に本を並べました。

図書委員長の今中航^{わたる}さんは「図書館がきれいになりました。たくさんの方に利用してもらえるように図書委員も頑張っていきたい」と話しました。



全国大会出場選手を激励!

伊吹山中ホッケー部



全国大会(8月19日～秋田県で開催)に向け、男子主将の常喜優佑^{じょうき ゆうすけ}さんは「一戦一戦全力を出し切り頑張りたい」、女子主将の高木美沙希^{たかぎ みさき}さんは「自分たちのホッケーをして優勝したい」と抱負を述べました。

双葉中陸上部(男子)



主将の河内颯太^{かわうち そうた}さんは「チームで走る最後の大会になるので、一本でも多く走り決勝に残りたい」と全国大会(8月21日～長野県で開催)への意気込みを語りました。

◀4×100メートルリレーに出場!

(上段右から)西村晟太郎^{にしむら せいたろう}さん、
河内颯太^{かわうち そうた}さん、須戸遼^{すど りょう}さん

(下段右から)面野開^{にし の ひらき}さん、
高倉勇人^{たかくら ゆうと}さん、鍋島聡^{なべし ま 聡}さん、
鍋島聡^{なべし ま 聡}さん



米原市長 平尾道雄

救える命は必ず救う、地域の防災力が問われています。災害時には、日頃のつながりと支え合いが力を発揮します。地域のみなさんには、要支援者の避難について自らができる行動支援をお願いします。そして、地域に暮らす者として、お互いに普段からのコミュニケーションを大事にしていきましょう。

市では、自治会長、自主防災組織、民生委員児童委員のみなさんにご協力いただきながら、要支援者一人ひとりの避難支援プラン「個別計画」づくりを進めています。

東日本大震災では、被災地全体の死亡者数のうち65歳以上の高齢者が約6割、障がい者の死亡率は被災住民全体の約2倍でした。被災死亡者の中に救える命はなかったのか、大きな犠牲の上に汲み取る教訓がたくさんあります。地域で、高齢者や障がい者のみなさんが素早く避難できる支援体制は整えられているでしょうか。

毎年実施している米原市総合防災訓練ですが、今年10月19日(水)に実施します。平日に実施することで見えてくる課題があります。災害時に命を守るにはどうすればよいか、家庭や地域で向き合っていたら、だききつかけとなることを期待しています。

